

たねだんごで みどりいっぱいのみなとみらいのまちをつくろう！

2年1組 指導者 一色 恵

1 単元について

活動に向かう子どもの思いや願い

- ・1年生では本町小に通っていたみなとみらい地区の子どもたちが、2年生になり、新しくみなとみらい本町小学校へ編入した。お別れの記念として秋に蒔いた、たねだんごの花が春に満開となり、離れ離れになった友達とも「お花でつながっている」という実感をもって、新しい学年をスタートしている。
- ・「まちたんけん」ではまず学校周辺の小さな公園をいくつか探検した。オフィスビルが多い地区のため、あまり子どもたちにはなじみがなく、新鮮な驚きや感動をもって、植物や虫と触れ合ったり、シーバスや貨物列車を眺めたりする様子が見られた。次に「まちのお気に入り」を尋ねると、子どもたちが住むマンション街の中央にある高島中央公園をあげる子が多く見られた。他にはランドマークタワー、ワールドポーターズなどの巨大商業施設をあげる子が多く、生活感のある場所にあまり目が向いていない傾向が見られた。高島中央公園を中心に、このまちを作ろうとしている人たちと関わることを通じて、子どもたちに、自分が生活する場所への意識や、自らまちづくりに関わっていく意欲をもたせたい。

身に付けさせたい力と材について

- ・みなとみらい地区にタワーマンションができて人々の暮らしの場となってから、10年が経過した。周辺の商業施設やオフィスビルは入れ替わりが激しく、街としての方向性は感じられない。保護者や子どもたちにとって、自分たちがずっと暮らしていきたい街という感覚は乏しく、新しくおしゃれで便利な街として捉えられている。
- ・しかし実際には、子どもたちが遊べる大きな公園があって愛護会が花壇の花を植えていたり、近隣にたくさんの保育園があって育児を支援していたり、夏に地域のお祭りが運営されるようになったりと、着々とまちづくりが進められている。子どもたちには、自分たちが安心してのびのびと暮らせるまちづくりを行っている人がいることを知って、さらにこのまちに愛着を持って生活する気持ちをもてるようになることを期待している。
- ・「たねだんご」は、失敗が少なく、簡単にたくさんの花を咲かせることができる栽培方法である。たねだんご作りやガーデンネックレスなどのイベントを通じて横浜市緑化に取り組んでいる、中区役所みどりアップ推進課の方々と繰り返し関わることで、まちづくりや公園の緑化への思いに触れることができると考えた。また、自分たちの栽培したたねだんごのプランターをどこに置くのかを、「まちたんけん」を通じて考えることで、さらに地域の場所や人の魅力に気付き、まちに愛着をもつことを期待したい。

内容 (3) 地域と生活

単元目標

まちに緑を増やそうとしている人たちの思いや活動を知り、一緒にまちに緑を増やす活動を行うことを通して、自分たちの暮らすまちの公園や通りに愛着を持って生活しようとする。

単元の評価規準

生活への 関心・意欲・態度	活動や体験についての 思考・表現	身近な環境や 自分についての気付き
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の周りの場所や自然に関心をもって関わろうとしている。 ・自分が気付いた物や事について楽しく伝えあい交流しようとしている。 ・自分たちのまちづくりに関わっている人々や様々な場所に親しみや愛着をもって進んで関わろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の体験や友達の話、まちづくりに取り組んでいる人たちの話を聞いて、自分たちのまちについて考えている。 ・自分たちのまちにいる人や場所と適切に関わることや、楽しく生活することについて考え、それを表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのまちにある自然の豊かさに気付いている。 ・自分たちのまちに緑を増やそうとしている人たちの存在や思いに気付いている。 ・自分たちの生活は様々な人と関わりを持っていることが分かり、まちのよさに気付いている。

2 指導計画 (25時間+常時活動)

活動のきっかけ『春になって、たねだんこの花がたくさん咲いたよ。』

- 学校の周りで春探しをする。
 - 学校の周りにもたくさん花が咲いているよ。
 - すぐ近くに水際線公園があるよ。
 - そっちの方は行ったことがないな。
 - 川にクラゲがいるときもあるよ。
 - 何があるのか見に行きたい。

他教科等との関連

【生活】
みつけたよ！
はるいっぱい

1 公園たんけんに出かけよう

6時間+常時活動

- 水際線公園に出かける。
 - タンポポが満開だよ。
 - 線路が見える。何の電車が通るのかな。
 - シーバスだ！乗ったことがあるよ。
 - 見たことのないお花があるよ。
 - 僕の通ったポピンズナーサリー（保育園）の子たちが来てる！
 - 川の向こうにも公園ばい場所があるね。
- ポートサイド公園に出かける。
 - 坂道がいっぱい面白い！
 - ここからも貨物列車とシーバスが見える！おーい！
 - 保育園の子がいる。どこの保育園かな。
 - 紫色のねこじゃらし、とっても大きい！
- 臨港パークに出かける。
 - クラゲがたくさんいる！
 - 貝殻やワカメもあるよ。
 - 休みの日に家族と来たことがある。人がいっぱいいた。
 - 不思議な石像「リマちゃん」と握手したよ。

【道徳】
ぼくは2年生

【国語】
たんぽぽのちえ

2 大好きな高島中央公園に行こう

4時間+常時活動

- 高島中央公園に出かける。
 - バッタを捕まえた。
 - ダンゴムシがいっぱいいるよ。飼ってみたいな。
 - さくらんぼの実が落ちてる。
 - 花壇に花があるよ。誰が植えてるのかな。
 - いつもこの辺でボール遊びをするんだ。
 - 今日は人が少ないな。でも小さい子が遊んでる。
- なぜ高島中央公園には2つの場所があるのか話し合う。
 - 草の場所とコンクリート（化粧石）の場所がある。
 - コンクリートの場所でボール遊びをするのが楽しい。
 - キックボードもコンクリートの方がやりやすいよ。
 - 草は嫌い。虫が来るし足がチクチクする。
 - なんで両方あるんだろう。
- 高島中央公園を使っている人について話し合う。
 - 小さい子が使うから草の場所も必要だよ。
 - 遊具を置くのは草の方がいいんじゃない。
 - 木の陰で休んでいるビジネスマンの人もあるよ。
 - 両方あるといいんだね。
 - お弁当を家族で食べている人もいるよ。
 - カラスやハトが寄ってきて困ったことがある。
 - ゴミが落ちていた。マナーを守らない人がいるのが気になる。
 - そういえばゴミ箱がないのはなぜだろう。
 - 看板を立てたらマナーを守る人が増えるかも。
 - 勝手に看板を立てたら怒られないかな。

【生活】
生きもの 大すき
太さくせん

【国語】
かんさつ名人になろう

【算数】
長さのたんい

3 みどりアップ推進課の人に聞いてみよう

4時間

○みどりアップ推進課の加藤さんにお話を聞く。

- ・1年生の時、どうして僕たちにたねだんごをくれたんですか。
- ・みどりアップ推進課って何をしているの。
- ・緑の大切さや、増やす大変さがわかった。
- ・ゴミ箱がない理由もわかった。
- ・僕たちもまちに緑を増やしたいな。
- ・またお花を育てたい！

○春夏のたねだんご作りを行う。

- ・今度はどんなお花が咲くかな。
- ・またプランターをまちに置きたい！
- ・今度はもっと、まちのいろいろな場所に置きたいな。
- ・まちに緑が増えたら、まちの人も加藤さんも喜ぶんじゃないかな。

【道徳】

このまち 大すき

【国語】

大事なことを落とさず
に話を聞こう

4 まちにみどりをふやそう

6時間

○加藤さんの出した条件に合う場所を探す。

- ・歩行者の邪魔にならない
- ・たくさんの人が見る
- ・日当たりがよい

- ・ここは人がいっぱい通るね。
- ・道のはじっこならいいかな。お店の人に聞いてみよう。
- ・公園に置いたら、保育園の子が見てくれるんじゃないかな。
- ・ランドマークタワーの方に置けば、本町小の子たちも見てくれるかも。
- ・加藤さんにも置けそうな場所を聞いてみよう。

○街の美化・緑化に取り組んでいる人たちに出会う。

- ・愛護会の方が公園の花壇のお世話をしていたんだね。
- ・まちにある会社の人たちも、まちに緑を増やそうとしていたなんて知らなかった。
- ・私たちもお手伝いが出来てうれしいな。

【算数】

かけ算

5 わたしたちのたねだんごをせんでんしよう

4時間+常時活動

○ポスターや看板を作って、宣伝の準備を行う。

- ・保育園の子や先生に見てもらいたい。
- ・本町小にも宣伝しよう。
- ・まちの人たちが喜んでくれるといいな。

○ポスターや看板を渡してまちの人と交流する。

- ・保育園の先生が喜んでくれたよ。
- ・お店の人や工事の人も喜んでくれた。
- ・緑が増えるとたくさんの人が笑顔になるんだね。

【図工】

えのぐじま

6 大すき わたしたちのまち

1時間

○まちたんけんでの出来事を振り返る。

- ・私たちのまちを作っている人と会えてうれしかった。
- ・たくさんの人が喜んでくれた。
- ・まちに緑を増やすことができた。
- ・高島中央公園がもっと好きになったよ。

- ・これからもまちに緑を増やしたい。
- ・たくさんの人に私たちの学校を知ってもらえた。
- ・もっとほかに私たちができることはないかな。
- ・まちの色々なところにもっと出かけたくな。

3 評価計画 内容(3) 地域と生活

観点 小単元		生活への 関心・意欲・態度	活動や体験について の思考・表現	身近な環境や 自分についての 気付き	他教科等と の関連
公園たんけんに出かけよう 6時間+常時活動	○水際線公園に出かける	関： 学校の周りの場所や自然に関心をもって関わろうとしている。 自分が気付いた物や事について楽しく伝えあい交流しようとしている。		気： 自分たちのまちにある自然の豊かさに気付いている。	【道徳】 ぼくは2年生 【国語】 たんぼぼのちえ
	○ポートサイド公園に出かける				
	○臨港パークに出かける				
高島中央公園に出かけよう 4時間+常時活動	○高島中央公園に出かける		思： 自分の体験や友達の話から、自分たちのまちについて考えている。		【生活】 生きもの大すき 大きくせん 【国語】 かんさつ名人になるう 【算数】 長さのたんい
	○なぜ高島中央公園には2つの場所があるのか話し合う ○高島中央公園を使っている人について話し合う				
みどりアップ推進課の人に聞いてみよう 4時間	○みどりアップ推進課の加藤さんにお話をきく			気： 自分たちのまちに緑を増やそうとしている人たちの存在や思いに気付いている。	【道徳】 このまち大すき 【国語】 だいじなことをおとさずにきこう
	○春夏のたねだんご作りを行う	関： 自分たちのまちづくりに関わっている人々や様々な場所に親しみや愛着をもって進んで関わろうとしている。			

6時間 まちにみどりをふやそう	○加藤さんの出した条件に合う場所を探す			【気】：自分たちの生活は様々な人と関わりを持っていることが分かり、まちのよさに気付いている。	【算数】 かけ算
	○まちの美化・緑化に取り組んでいる人たちに会う		【愚】：まちづくりに取り組んでいる人たちの話を聞いて、自分たちのまちについて考えている。		
4時間 わたしたちのたねだんごをせんでんしよう 4時間+常時活動	○ポスターや看板を作って、宣伝の準備を行う		【愚】：自分たちのまちにいる人や場所と適切に関わることや、楽しく生活することについて考え、それを表現している。		【図工】 えのぐじま
	○ポスターや看板を渡して、まちの人と交流する	【関】：自分たちのまちづくりに関わっている人々や様々な場所に親しみや愛着をもって進んで関わろうとしている。			
大すき 1時間 わたしたちのまち	○まちたんけんでの出来事を振り返る			【気】：自分たちの生活は様々な人と関わりを持っていることが分かり、まちのよさに気付いている。	

4 活動の実際

学習活動	教師のかかわり	評価規準
<p>活動のきっかけ</p> <p>【日常】学校にあるたねだんごのプランターを見た子どもの発言から…</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の周りにもたくさん花が咲いているよ。 近くに水際線公園があるよ。 そっちには行ったことがないな。 <p>学校の周りに何があるのか見に行こう。</p>	<p>新しい学校の周辺や自然に興味を持っているようだ。</p> <p>環境 たねだんごのプランターを子どもの目に付くところに設置する。</p> <p>芸術性 「春だから色々な植物や生きものが見られるよ。」</p>	<p>関：学校の周りの場所や自然に関心をもって関わろうとしている。</p>
<p>1 公園たんけんに出かけよう</p> <p>○水際線公園に出かける。</p> <ul style="list-style-type: none"> タンポポが満開だよ。 線路が見える。何の電車が通るのかな。 シーバスだ！乗ったことがあるよ。 保育園の子たちが来てる。 川の向こうにも公園があるね。 <p>○ポートサイド公園に出かける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 坂道がいっぱい面白い！ ここからも貨物列車やシーバスが見える！おーい！ 保育園の子がいる。どこの保育園かな。 紫色のねこじゃらし、大きい！ <p>○臨港パークに出かける。</p> <ul style="list-style-type: none"> クラゲがたくさんいる！ 貝殻やワカメもあるよ。 休みの日には人がいっぱいいるよ。 不思議な石像「リマちゃん」と握手したよ。 <p>いつもぼくたちが遊んでいる高島中央公園にも行きたいな。</p>	<p>身近にある公園から、自然の豊かさや季節の移り変わりに気付かせたいな。</p> <p>価値付け 自然や場所に対するささいな子どもの気付きを大いに褒め、写真を撮っておく。</p> <p>繰り返し公園たんけんを繰り返うことで、自然や場所への気付きが深まってきたな。</p> <p>環境 自然と触れ合う時間を十分に取って、繰り返し自然と関わることができるようにする。 学年フロアにまちの絵地図を貼り、それぞれの公園の位置関係がわかるようにしておく。</p> <p>芸術性 撮った写真を振り返りに利用して、友達が見つけたものを共有する。</p>	<p>関：自分が気付いた物や事について楽しく伝えあい交流しようとしている。</p> <p>気：自分たちのまちにある自然の豊かさに気付いている。</p>

2 大好きな高島中央公園に行こう

- ・バッタを捕まえた。
- ・ダンゴムシがいっぱいいるよ。飼ってみたいな。
- ・さくらんぼの実が落ちている。
- ・花壇に花があるよ。誰が植えているのかな。
- ・いつもはこの辺でボール遊びをするんだ。
- ・今日は人が少ないな。

○なぜ高島中央公園には2つの場所がある

- ・草の場所とコンクリートの場所がある。
- ・コンクリートの方がボール遊びやキックボードがやりやすいよ。
- ・草は嫌い。虫が来るし、チクチクする。
- ・なんで両方あるんだろう。

○高島中央公園を使っている人について話

- ・小さい子が使うから草の場所も必要だよ。
- ・両方あるといいだね。
- ・マナーを守らない人がいるのが気になる。
- ・ゴミ箱がないのはなぜだろう。
- ・看板を立てたらどうかな。

公園を管理している人について、看板を作っているか聞きたいな。

普段遊んでいる公園を改めて観察することで、新たな発見に気付かせたいな。

価値観
自然や場所に対するささいな子どもの気付きを大いに褒め、写真を撮っておく。

準備
帰校してから写真を見せ、高島中央公園の特長に気付くようにする。

喜んで自然探しをしていたけど、子どもたちに馴染みが深いのはコンクリートの場所らしい。草地のよさにも気づかせたいな。

価値観
様々な利用者に目を向けさせ、両方のよさがあることに気付くようにする。

公園を守っていく活動に目が向いてきたな。公園に関わる人に出会わせよう。

環境
たねだんごでお世話になった、みどりアップ推進課の方にお話を聞けるように、手配しておく。

3 みどりアップ推進課の人に聞いてみよう

○みどりアップ推進課の加藤さんにお話を聞く。

- ・みどりアップ推進課って何をしているの。
- ・緑の大切さや増やす大変さが分かった。
- ・ゴミ箱がない理由も分かった。
- ・僕たちもまちに緑を増やしたいな。
- ・またお花を育てたい。

○春夏のたねだんご作りを行う。

緑のよさに気付いた子どもたちに、何かできることはないかな。

価値観
子どもの気持ちの高まりを見取り、緑を増やしたいという思いから、次の活動につなげていく。

園：自分の体験や友達の話から、自分たちのまちについて考えている。

園：自分たちのまちに緑を増やそうとしている人たちの存在や思いに気付いている。

学習活動

教師のかかわり

評価規準

- ・今度はどんなお花が咲くかな。
- ・またプランターをまちに置きたい！
- ・今度は色々な場所に置きたいな。
- ・まちに緑が増えたら、まちの人や加藤さんが喜んでくれるんじゃないかな。

どこにプランターを置いたら、まちの人が喜んでくれるかな。

子どもたちが慣れているたねだんごの手法で、気軽に緑化に参加できそう。

価値付け

過去の活動を想起させ、栽培への意欲や自信を高めるようにする。

関：自分たちのまちづくりに関わっている人々や様々な場所に親しみや愛着をもって進んで関わろうとしている。

4 まちにみどりをふやそう

○加藤さんの出した条件に合う場所を探す。

- ・ここは人がいっぱい通るね。
- ・道の端っこならいいか、お店の人に聞いてみよう。
- ・公園に置いたら、保育園の子が見てくれるんじゃないかな。
- ・加藤さんにも置けそうな場所を聞いてみよう。

○まちの美化や緑化に取り組んでいる人たちに出会う。

- ・愛護会の方が公園の花壇のお世話をしていたんだね。
- ・まちにある会社の人たちも緑を増やそうとしているなんて知らなかった。
- ・私たちもお手伝いが出来てうれしいな。

たくさんの人たちに、私たちの活動を知らせたいな。

プランターの場所探しを通じて、もっとたくさんの人に関わってほしいな。

環境

候補に挙がりそうな場所をあらかじめ選定しておき、その場所の人に話を通しておくと共に、子どもたちがスムーズに、その場所に目を向けられるようにしておく。

関：自分たちの生活は様々な人と関わりを持っていることが分かり、まちのよさに気付いている。

加藤さんの他にも、まちの美化や緑化に取り組んでいる人がいることに気付いてほしい。

価値付け

子どもたちの活動がまちの大人に喜ばれる価値のあるものであることに気付かせ、自信をもってまちに広く知らせたいという意識につなげていく。

関：まちづくりに取り組んでいる人たちの話を聞いて、自分たちのまちについて考えている。

5 わたしたちのたねだんごを宣伝しよう

○ポスターや看板を作って宣伝の準備を行う。

- ・保育園の子や先生に見てもらいたい。
- ・本町小にも宣伝しよう。
- ・まちの人が喜んでくれるといいな。

○ポスターや看板を渡してまちの人と交流する。

みんなの思いが一つになるようなポスターや看板がいいな。

集約化

それぞれの設置場所に共通のポスターや看板になるように、レイアウトや文言を統一する。

関：自分たちのまちにいる人や場所と適切に関わることや、楽しく生活することについて考え、それを表現している。

学習活動

教師のかかわり

評価規準

- ・ 保育園の先生が喜んでくれたよ。
- ・ お店の人や工事の人も喜んでくれた。
- ・ 緑が増えるとたくさんの人が笑顔になるんだね。

まちの人と関わって楽しかったなあ。

これからも意欲的にまちの人や場所と関わってほしいな。

価値付け

子どもたちの活動を、全校児童や保護者の方に報告して、自己有用感やまたやりたいという意欲を高められるようにする。

【関】：自分たちのまちづくりに関わっている人々や様々な場所に親しみや愛着をもって進んで関わろうとしている。

6 大すき わたしたちのまち

○まちたんけんの出来事を振り返る。

- ・ 私たちのまちを作っている人と会えてうれしかった。
- ・ たくさんの人が喜んでくれた。
- ・ まちに緑を増やすことができた。
- ・ 高島中央公園がもっと好きになったよ。

次はどんな学習をするのか、楽しみだな。

まちたんけんから達成感を得て、来年の総合的な学習への足掛かりにしてほしいな。

発表

これまでの活動や問題解決方法を可視化できるように、掲示しておく。

【関】：自分たちの生活は様々な人と関わりを持っていることが分かり、まちのよさに気付いている。

